

会員研修会報告書

ツーリングカヤックを使用した流水でのボートコントロール

開催概要

開催日程：2018年10月9日 10時～15時

開催場所：岩手県宮古市閉伊川（閉伊川リバーパーク前）

参加者数：2名（一般会員2名、イントラK11名、Kベーシック1名）

講師：JSCA インストラクタートレーナー 中村昭彦（一滴 Paddle&Mountain Guide）

主管・補助：JSCA インストラクタートレーナー 紺野祐樹（アースクエスト）

主な研修内容

AM 講義：流水パドリングの基本

参加者に流水での経験がほぼ無かったので、流水でのパドリングの基本的な事項を講義により伝達した。

PM 流水ボートコントロール基礎研修

- 流れの観察
- 漕ぎあがり
- フェリーグライド
- エディーキャッチ

など、基本的な流水状況でのパドリングを研修した。適切なフェリーアングル、流れに応じたリーンなどをデモをしながら説明し、実践してもらった。はじめは戸惑いが多く、適切なフェリーアングルやエディーキャッチがうまくいかない場面が多かったが、回数をこなすにつれて明確な上達が見られ、後半はかなりスムーズに課題をこなすことができていた。

2名の参加者ともに、普段はシーカヤックを使用して海をメインに漕いでいるとのことで、流水の経験がほぼ無い状況での参加だったが、基礎的なパドリング技術を身に付けていたので、比較的スムーズに研修が進んだ。



主管所見

東北エリアでの会員研修会は、ここ3年同時期に岩手県で開催しているが、まだまだプロが少ない土地柄か、参加者が少ない状況が続いている。今回は、12月に開催されるイントラ2検定を視野に入れての開催だったが、イントラ2受験予定者の参加は得られなかった。半面、イントラ1及びベーシック所持の会員が、未経験に近い流水でのパドリング技術を学べる貴重な機会になったと考える。今後とも様々な形で会員の技術や安全管理意識が向上できる研修会を企画していきたいと考えている。

講師所見

流れを知りその中でボートコントロールをすることで、自己中心的な漕ぎ方から、動きを感じながらの漕ぎに変えざるを得なくなります。そうすることによって、シンプルでスマートなパドリングに繋がると考えます。また、細かいボートコントロールも求められるので、潮流に常に行くことがない方も積極的に流れを知ることをおすすめします。今回の研修ではそのような流れを講義によって確認し、弱い流れから練習したことにより、比較的上達具合も早かった気がしております。また、参加者がインストラクター／ガイド1を取得している方やそれを目指している方だったので、基本的な漕ぎ力が備わっていたことも、今回の研修をスムーズに進められた原因だと感じました。